

## (参考資料)

### (1) 監査対象とした事業の概要

監査対象とした事業の概要について、事業名、所管所属、平成 26 年度の決算金額に加えて、大阪市の各部局において平成 26 年度の予算要求の際に作成された予算調書に記載されている事業目的、事業対象を以下にまとめた。

#### 【監査対象とした集客に関連する事業の概要一覧】

No 1

事業名	大阪観光局事業
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	250,000,000 円
事業目的	関西の観光インバウンド拠点「大阪」をめざす。 来訪者、宿泊者数の増加による経済効果 新たな観光関連作業の振興と地域の活性化 交流を通じたにぎわいづくりによる府民生活の質的向上
事業対象	大阪観光局は、「大阪の観光戦略」をベースに事業計画（戦術）と事業目的を含め業績など組織目標を設定し、目標の達成に向け情報発信・プロモーション・MICE 誘致等の事業を推進する。

No 2

事業名	「三都物語」コーディネート事業
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	5,000,000 円
事業目的	三都市への総客拡大を図る J R 西日本とともに「三都物語」キャンペーンを実施し、旅行商品化を進めるとともに、九州新幹線開通などの市場動向に臨機応変に対応しながら、J R 各駅や旅行会社でのポスター掲示やメディア招へいなど戦略的・効果的なプロモーションを展開する。
事業対象	現地説明会の開催 観光キャラバンの実施 誘致ポスター・パンフレットの作成 プレゼントキャンペーンの実施 インバウンドを目的とした観光博の出展

## No 3

事業名	京阪神堺四都市外客誘致実行委員会事業
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	1,500,000 円
事業目的	外国人観光客の大阪・関西での滞在の促進 東アジアの主要市場以外の地域（特に、東南アジア）での大阪・関西の認知度向上
事業対象	PR事業、旅行商品化推進事業

## No 4

事業名	大阪市ビジターズインフォメーションセンターの運営
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	31,998,680 円
事業目的	大阪市ビジターズインフォメーションセンター（VIC）4箇所のうち、梅田VICは現行どおり運営、難波VICは現状機能を南海インフォメーションセンターへ業務委託し継続運営する。新大阪VIC・天王寺VICを閉所したことに伴う、2箇所の原状回復工事。
事業対象	梅田VIC、難波VICの運営 新大阪VIC、天王寺VICの原状回復工事

## No 5

事業名	関西国際空港内観光案内所の設置・運営分担
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	2,502,000 円
事業目的	関西国際空港を利用する内外の観光客の多様なニーズに応じた的確な観光情報を提供するため、2府8県6市（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県、京都市、大阪市、神戸市、奈良市、和歌山市、堺市）が構成団体である関西国際空港内観光案内所整備運営協議会として関西国際空港内観光案内所の整備・運営を行う。
事業対象	関西観光情報センターの運営 観光情報の収集及び提供情報の更新・作成 様々な情報収集等に努め、利用客に的確な観光情報の提供 マップの改定を行い、情報提供機能の拡充 関西観光情報センター機能拡充に向けた取組み 電子掲示板の情報提供内容の充実 観光地情報ガイドブック等の情報提供ツールの収集、提供

## No 6

事業名	クラシック音楽普及促進事業
所管所属	経済戦略局（文化庁文化課）
決算金額	11,113,200 円
事業目的	大阪フィルハーモニー協会が所有する「大阪フィルハーモニー会館」を活用し、クラシック音楽の普及促進に係る事業を実施するもの。会館の一部を市民スタジオとして開放し、音楽練習・発表の場として広く市民に供するとともに、同会館を会場に、西成区特区構想及び区のイメージアップに資するクラシックコンサートを開催する。アーツカウンシルからの評価をふまえ、西成区役所、西成区内で実施されている事業や団体と連携しながら継続実施する。
事業対象	市民、施設利用者、芸術家

## No 7

事業名	第一級の芸術にふれる機会の充実
所管所属	経済戦略局（文化庁文化課）
決算金額	29,844,784 円
事業目的	市民が、大阪にある優れた芸術文化資源である文楽をはじめとした伝統芸能やクラシック音楽に、気軽に触れる機会を提供し、引き続きこうした芸術文化資源に親しむきっかけとする。 アーツカウンシルの評価は以下のとおり クラシック鑑賞系は、実施するのに一定の意義はあるが、他分野に比べて目立って多く、バランスを考える時期にきている。
事業対象	市民、特に青少年

## No 8

事業名	オータム・チャレンジスポーツ 2014
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	1,543,218 円
事業目的	市民がスポーツを継続的に行うきっかけづくりや活動の成果を発表する機会として、9月から11月の3カ月にわたって、市内各所で競技団体・総合型地域スポーツクラブ等とともに実施する大会・教室・表彰式等を開催することによって、生涯スポーツの振興を図ることを目的とする。

事業対象	全市民 広報事業、無料開放、競技団体によるイベント、各区スポーツ推進委員イベント、市民体育功労者表彰式、総合型スポーツクラブイベントその他関連イベント
------	--

No 9

事業名	平成 26 年度市長杯各種大会の開催
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	5, 293, 840 円
事業目的	市長杯大会として各種競技大会を開催することにより、市民スポーツの普及振興と健康な体力の保持増進に寄与することを目的として、昨年度に引き続き実施する。
事業対象	全市民

No10

事業名	学校体育施設開放事業
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	16, 370, 445 円
事業目的	学校体育施設開放事業（以下「開放事業」という）は、市立の小・中・高等学校及び特別支援学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域に開放し、地域住民に継続的にスポーツ活動の場や機会を提供するとともに、地域住民による自主的、主体的な運営や活動の推進を図ることにより、もって住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興、生活の質の向上に寄与することを目的とする。
事業対象	各区において、開放を行う学校ごとに設置された学校体育施設開放事業運営委員会等に委託、補助、協定等の手法で運営を実施している。

No11

事業名	ウォーキング事業
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	6, 499, 200 円
事業目的	市民にスポーツをするきっかけ・継続する機会を提供し、生涯スポーツの振興を図ることを目的とする。
事業対象	ウォーキングプログラム

## No12

事業名	スポーツ教室事業
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	39,680,921 円
事業目的	生涯スポーツに係る各種教室事業等により、市民にスポーツをするきっかけ・継続する機会を提供し、生涯スポーツの振興を図ることを目的とする。
事業対象	市民（一般、子ども、指導者）対象 スポーツ大学、チャンピオンレッスン、レクリエーションセンター

## No13

事業名	水と光のまちづくり推進事業
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	36,529,580 円
事業目的	<p>本事業は、「大阪都市魅力創造戦略」の3つの重点取組の中に位置づけられたものであり、これまでの「水都大阪の再生」に向けた市・府・経済界の取組みを、民主導の新たな推進体制により、継承、加速させることで、政界中から人・投資を呼びこむ「水と光の首都大阪」ブランドの確立を目指す。</p> <p>府市共通の「大阪の観光戦略」に掲げる「平成32年年外国人旅行者650万人達成」（平成28年度目標：450万人）に資するべく、新たなシンボル空間の創出や舟運活性化等を通じて、「水の回廊」における水辺の魅力向上、水辺の賑わい創出を図る。</p> <p>本事業は、意思決定機関として府市経済界のトップから構成する「水と光のまちづくり推進委員会」を設置するとともに、民主導の「水都大阪パートナーズ」と、それを支える府市の行政機関である「水都大阪オーソリティ」を設置して実施する。</p> <p>推進会議の部会として、「水都大阪パートナーズ」の事業目標（評価指数）や事業計画、目標達成状況の評価を行う、「事業評価委員会」を設置し、評価指標を定め、改善点等が次年度事業運営に確実に反映されるよう、PDCAを実施できる体制を構築し事業実施する。</p> <p>本事業は、推進会議の事務局である大阪商工会議所が、府市の分担金、経済界の人的支援等を取りまとめ、「水都大阪パートナーズ」に助成、支援をして事業を推進する。（府市経済界の負担＝1：1：1）</p>
事業対象	企業、団体、府民、市民 等

## No14

事業名	(仮称) 水都大阪 2015 開催事業
所管所属	経済戦略局 (観光部観光課)
決算金額	12,907,990 円
事業目的	本事業は、大阪を水と光の魅力で盛り上げ、「水と光の首都大阪」を世界にPRするために、「(仮称) 水都大阪 2015」を準備、開催するものである。
事業対象	市民、府民、民間企業等

## No15

事業名	大阪・光の饗宴事業
所管所属	経済戦略局 (観光部観光課)
決算金額	253,628,035 円
事業目的	光による夜間景観創出事業として実施しており、引き続き、温かな光で大阪を元気づけるとともに、都市魅力の向上を図り、中之島の魅力を発信し、国内外から多くの人々を招致することを目的に実施する。 開催場所：大阪市役所周辺、中之島公園、中之島通り
事業対象	市民、ビジター 中之島全域

## No16

事業名	御堂筋活性化事業
所管所属	経済戦略局 (観光部観光課)
決算金額	16,414,781 円
事業目的	大阪のシンボルである御堂筋を歩行者に開放し、各種のイベントを実施することにより、御堂筋の魅力を国内外に広く発信し集客を図るとともに、一層の賑わいの創出を図る。
事業対象	新橋交差点から難波西口交差点北側 (難波高島屋前) までの 1.1 k m

No17

事業名	大阪城エリア観光拠点化事業
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	45,724,849 円
事業目的	大阪府市が策定した「大阪都市魅力創造戦略」に掲げる大阪城エリアの世界的観光拠点化を推進するため、大阪城の歴史的文化的資源を活用した魅力向上事業として、本物の歴史的文化を体感できる施設として豊臣石垣公開施設を整備するほか、整備予定地の遺構調査を行うとともに、重要文化財・遺構調査の一般公開を行う。
事業対象	大阪城の資源を活用した歴史的文化体感事業 豊臣期石垣公開事業 重要文化財・遺構調査一般公開 大阪城公園内特設案内所における観光案内業務

No18

事業名	大坂の陣 400 年プロジェクト事業
所管所属	経済戦略局（企画部企画課）
決算金額	50,000,000 円
事業目的	大阪都市魅力創造戦略における平成 27 年シンボルイヤーに向けた事業として、大坂冬の陣・夏の陣から 400 年目という節目の機会を捉え、府市が連携し一体となって「大坂の陣 400 年プロジェクト」を立ち上げ、民間の活力を引き出すことのできるコアイベントの企画実施をはじめ、様々な事業主体による催しが連続して開催されるフェスティバル形式の魅力あるイベントを展開する。 大阪城公園への観光拠点型 PMO（公園全体をマネジメントする民主導組織）の導入をめざしている本市にとって、大阪城への年間を通じた一層の観光客誘致並びに、PMO が自律的かつ運営を継続して行える仕組みの構築が大きな課題であり、民間による魅力的なイベントや収益事業を数多く誘致し、定着させる必要がある。そこで、大坂の陣 400 年という大きな節目である平成 26、27 年に、「大坂の陣 400 年プロジェクト」によって大阪城公園という公共スペースをイベントや事業を通じて民間の方々に活用してもらおうプロジェクトを実施し、新たな仕掛けとなる PMO の円滑な導入につなげる。 全体の取組みとして、府は、市内を含む府域において民間や府下

	<p>市町村とともにイベント等を実施し、本市は、大阪城公園内において、民間活力を利用した集客力あるイベントの開催をめざす。その実現に向けて各取組みの連携を図るため、同プロジェクトの実行委員会を立ち上げ、「大坂の陣400年プロジェクト 全体計画」を策定し、今後は事業全体の調整や、プロジェクトの一体的な推進を図る。</p> <p>これらの取組みにより、平成27年シンボルイヤーにふさわしいものとなるよう、大阪城公園エリアはもちろんのこと、大阪全体が盛り上げるような事業展開を図ることで、世界が憧れる都市魅力を創造・発信し続けるまち大阪の実現につなげる。</p>
事業対象	大坂の陣400年プロジェクト実行委員会分担金

No19

事業名	天王寺動植物公園の魅力向上事業
所管所属	経済戦略局（観光部観光課）
決算金額	1,156,665円
事業目的	天王寺・阿倍野エリアの拠点として、集客力の向上を図り、ハード・ソフト両面にわたる取組みにより魅力向上を行うこととしている。建設局において行う園路舗装改修など機能回復をめざしたハード整備に併せ、平成25年度から26年度にかけて民間事業者の提案募集を行い、平成27年度より天王寺動植物公園のエントランスエリア等において民間活力の導入をめざす。さらに、選定された事業者や周辺企業等と集客を促進するためのエリア連携を推進するための検討を行う。
事業対象	<p>民間事業者選定経費 420千円</p> <p>特別参加報酬 1,001千円</p> <p>エリア連携に関する調査費 3,086千円</p>

## No20

事業名	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業
所管所属	経済戦略局（企画部企画課）
決算金額	1,829,725 円
事業目的	<p>市内に数多く存在する歴史的・文化的資産等について、これらの資源を活かした街の個性や魅力を引き出すまちづくりを推進するため、平成 26 年度から 28 年度にわたり歴史的・文化的まちなみ創出事業を展開する。</p> <p>その際、平成 26 年度においては、船場モデル地区における整備について、制度設計、実施計画策定をはじめ観光ルート設定等の検討を行い、平成 27 年度から 28 年度にかけて、三休橋筋（南北）と交差する道路（東西）を中心に、船場モデル地区で 3 か所（生きた建築ミュージアム指定建物で効果的な場所等）を選定し、無電柱化・電線類の再編・道路美装化を街区単位で整備するとともに観光魅力創出に係る施策（観光ルートやソフト事業等）を実施する。</p> <p>また、その他地区での事業化については、平成 29 年度以降船場先行地区の効果等を検証した後に検討していく予定である。</p>
事業対象	観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業（仮称）に伴う、無電柱化・電線類の再編・道路美装化 観光魅力創出に係る施策（観光ルート整備やソフト事業）

## No21

事業名	大阪アーツカウンシル等による文化行政の推進
所管所属	経済戦略局（文化部文化課）
決算金額	4,895,523 円
事業目的	<p>府市の文化的施策を統一的に推進し、パワーアップを図るため、平成 25 年度に府市共同により設置した文化振興会議（審議会）とともに、文化施策を推進する新たな仕組みである、行政と一定の距離を保ち、芸術文化の専門家等による評価・審査等を行う、いわゆる「アーツカウンシル」を府市文化振興会議の部会により、文化行政を推進する。</p> <p>アーツカウンシルは 3 つの機能を持つこととしており、その機能は、①「府市の文化事業の検証・評価や助成事業の審査及び改善提案」を担う「評価機能」と、②「新たな事業等の企画、立案及び提言等」を行う「企画機能」、③「文化事業や文化活動等に係る、情報の収集、分析、提供等」を行う「調査（シンクタンク）機能」</p>

	であり、平成 26 年度は引き続き評価機能に取り組むとともに、企画機能・調査（シンクタンク）機能の拡充を図る。
事業対象	府市文化施策全般

No22

事業名	大阪クラシックの開催
所管所属	経済戦略局（文化庁文化課）
決算金額	31,001,682 円
事業目的	御堂筋や中之島界限での無料又は低料金のクラシックコンサートの開催を通じて、市民やビジターが気軽に第一級の芸術を楽しむ機会を提供するとともに、大阪ならではの芸術文化イベント開催により都市魅力の向上を図る。
事業対象	大阪市民及びビジター

No23

事業名	大阪アジア映画祭の開催
所管所属	経済戦略局（文化庁文化課）
決算金額	28,750,000 円
事業目的	優れたアジア映画の鑑賞機会を市民へ提供すること及び大阪での映像制作活動の促進を支援すること等を通じて、映像文化の裾野を広げ、文化芸術にあふれる大阪を国内外に発信するとともに、大阪を映像文化の創造拠点として、都市の魅力を高めるとともに、交流と人材育成を図る。
事業対象	一般市民、映像制作者

No24

事業名	青少年芸術体験事業
所管所属	経済戦略局（文化庁文化課）
決算金額	18,517,343 円
事業目的	青少年が多様な芸術に接して感動を味わい、芸術への関心を高める機会を提供することで、芸術に対する感性や能力を育成し、将来芸術に親しみ、かかわる人材の育成へつなげる。 アーツカウンシルより、子どもたちにとっては「観賞」より「体験」の方が強く印象に残り、文化課としては、他部局で手掛けている分野に特化して質を高めたプログラムの提供を目指すという意見により、伝統芸能に特化して事業を実施する。
事業対象	市内小学校・中学校の児童・生徒

事業名	文化創造拠点ネットワークの形成
所管所属	経済戦略局（文化部文化課）
決算金額	17,585,839 円
事業目的	<p>・芸術創造館拠点事業          芸術創造館及び同施設が持つノウハウを活用した新たな文化創造拠点ネットワークの企画及び事業実施。</p> <p>芸術創造館セレクション・エクスペリメンタルシアター          芸術創造館は、練習室とホールを兼ね備えたインキュベーションセンターと位置付け、インキュベート機能の推進を目的として、再演の機会を与えることは文化振興の目的に適うので、引き続き実施する必要があるとのアーツカウンシル部会の意見もあることから、月1回程度、公演や実験的な取組みを実施する。</p> <p>内容については、演劇事業のネットワーク化を進めるためにも、市が持つ公的施設での公演や劇団のネットワーク化や民間の劇場や演劇祭との連携を行うこととし、他劇場で公演をする前段階での試験公演、ショーケース、ワークショップ形式等の実施について、民間文化施設や演劇祭等との役割分担を明確にし十分に連携し、事業展開を図る。</p> <p>・芸創めっちゃプロ・めっちゃレコ          ライブ活動だけの段階にあるバンドに対して、デモテープづくりの課題を与えることにより、オリジナル作品づくりへの動機づけを行い、創造性あるバンドに育てるとともに、将来性が見えるバンドについては、プロフェッショナルな活動へ向けて支援していく。インキュベーション機能を持つ本事業は引き続き実施する必要があるとのアーツカウンシル部会の意見もあることから実施する。</p> <p>・中央公会堂の活用促進          大阪の都市魅力の向上を図るため、国の重要文化財指定という強みを活かし、中之島エリアのシンボルとして多くの人が集まるような文化の香り高い施設をめざして、公会堂の魅力を伝える展示を行う。</p> <p>・生涯学習情報システム再構築          中央公会堂において、施設の管理運営に利用している生涯学習情報システムの平成27年度システム更新に伴い、システム再構築費用について、利用端末分を負担する。</p>
事業対象	市民、施設利用者、芸術家

## No26

事業名	(財) 地域創造に対する分担金
所管所属	経済戦略局 (文化庁文化課)
決算金額	27,871,000 円
事業目的	(財) 地域創造設立の趣旨実現に向けて、文化振興施策の担当者が芸術文化に対する知識を深め、他自治体との情報交換や芸術各分野におけるリアルタイムの情報の把握に努めつつ、有効な施策を進めていく。
事業対象	ジャンボ宝くじ売上金のシェアに応じて (財) 地域創造あてに分担金を支出する。

## No27

事業名	大阪市立美術館の魅力向上
所管所属	経済戦略局 (文化庁文化課)
決算金額	23,325,468 円
事業目的	市立美術館の利用者サービス向上と美術館機能の強化を目的とし、本館を全面改修するとともに、隣接地に新棟 (仮称) を整備し、天王寺公園エリア全体の利用者サービス機能、美術館の事務や普及部門を本館から移転する。本館については、収蔵庫を拡張するとともに快適な展示空間を提供する。 本館屋根について、トップライト部分を化粧鋼板で覆い、美観と防水性の向上を図る。
事業対象	大阪市立美術館本館改修、隣接地に新棟 (仮称) の建設 上記について、平成 26 年度は建設・改修に係る調査を行うとともに、基本計画を策定する。 大阪市立美術館本館屋上改修

## No28

事業名	博物館施設の地方独立行政法人化
所管所属	経済戦略局 (文化庁文化課)
決算金額	11,999,120 円
事業目的	地方独立行政法人の設立団体として出資財産を確定し、移行に向けた各種手続を必要な手順をふまえながら遺漏なく確実に進捗させ、地方独立行政法人への移行をスムーズに実施する。
事業対象	出資財産の確定、地方独立行政法人移行支援業務、評価委員会の運営、各種システム構築・導入、認可手続き等

## No29

事業名	スポーツ競技大会の開催
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	25,388,948 円
事業目的	国際大会や全国大会など大規模競技大会や、姉妹都市とのスポーツ交流大会を開催することで、市民にトップレベルの競技を観る機会を提供するとともに、次代を担う子供たちがスポーツを通じた交流を深めることで、競技スポーツの振興とスポーツを通じた大阪の都市魅力発信を図ることを目的とする。
事業対象	大阪市長杯 2014 世界スーパージュニアテニス選手権大会開催 (No29-1) 世界陸上記念陸上競技フェスタの開催 (No29-2) スポーツ拠点づくり推進事業 (No29-3) 大阪市長杯・姉妹都市ユースサッカー大会開催 (No29-4) 競技大会招致・活動経費 (No29-5)

## No29-1

事業名	大阪市長杯 2014 世界スーパージュニアテニス選手権大会
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
事業目的	市民にトップレベルの競技を観る機会を提供することで競技力の向上を図り、次代を担う子どもたちにスポーツの面白さを知らせ、興味を持たせることを目的とし、誰もがスポーツを楽しみスポーツを通じて交流する国際スポーツ都市大阪の実現をめざす。
事業対象	10 月：事業実施

## No29-2

事業名	世界陸上記念陸上競技フェスタの開催
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
事業目的	世界陸上を開催し、それを契機に広がった陸上競技（＝スポーツ）への関心を今後継続するため、小・中学生を対象に「するスポーツ」としての競技会を開催し、より一層のスポーツへの関心を高めスポーツ振興を目的とする。
事業対象	小・中学生

## No29-3

事業名	スポーツ拠点づくり事業
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
事業目的	各都道府県からの参加者と交流を深めるとともに、大阪の魅力をアピールする。また、多くの小中学生が集まることで青少年のスポーツ振興に大いに寄与し、生涯スポーツの振興を図る。
事業対象	全国 47 都道府県の小・中学生を対象としているが、小学生が 1 県のみ参加がない。

## No29-4

事業名	大阪市長杯・姉妹都市ユースサッカー大会
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
事業目的	大阪市と姉妹都市・友好協力都市とスポーツ交流を行うことにより、技術力向上と相互理解の促進を図る。
事業対象	姉妹都市代表 U-18×2 チーム、大阪市代表 4 チーム 計 6 チーム

## No29-5

事業名	競技大会招致・活動経費
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
事業目的	国際競技大会の開催支援や運営を通じて、競技の普及振興と競技力向上を図り、誰もがいつでも楽しめる市民スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じて交流することをめざし、「元気な大阪のまちづくり」の推進を図る。
事業対象	国内外の各種競技団体、市民

## No30

事業名	第 4 回大阪マラソンの開催
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	90,000,000 円
事業目的	生涯スポーツの振興（国内最長の制限時間等により誰もが参加できる市民マラソン） 地域活性化（地域でのボランティアや応援イベントへの参加、商店街と連動した関連イベントの実施等） 経済活性化（国内外から参加するランナー及び観戦者等による経済波及効果）
事業対象	国内外からの参加ランナー、ボランティア、応援イベント参加者、商店街、沿道観衆 等

## No31

事業名	トップアスリートとの交流事業
所管所属	経済戦略局（スポーツ部スポーツ課）
決算金額	4,358,090 円
事業目的	オリンピック等の世界大会に出場したトップアスリートが、市民や市立小学校の児童生徒を対象に「夢」（目標）を持つことや努力を続けることの大切さを語り、また、学校を訪問することにより、子どもたちにトップレベルの技術を披露し、指導することを通じて、スポーツの普及振興に寄与することを目的としている。
事業対象	市立小・中・高等学校、特別支援学校の児童生徒

## No32

事業名	A T Cエイジレスセンター事業
所管所属	経済戦略局（立地推進部事業創出担当）
決算金額	373,835,386 円
事業目的	「A T Cエイジレスセンター」の運営を通じ、今後の成長が期待される「介護・福祉・健康分野」の企業等に対し、関連製品・技術・サービスの展示場所やビジネス情報を提供することで、同分野の産業の育成・振興を図る。
事業対象	福祉産業関連企業・シニアビジネス関連企業等

## No33

事業名	A T Cグリーンエコプラザ事業
所管所属	経済戦略局（立地推進部事業創出担当）
決算金額	222,635,922 円
事業目的	「おおさかA T Cグリーンエコプラザ」の運営を通じ、今後の成長が期待される「環境・エネルギー分野」の企業等に対し、関連製品・技術の展示場所やビジネス情報を提供することで、同分野の産業の育成・振興を図る。 また、3 Rや地球温暖化問題についてのビジネスソリューションの提案に加えて企業のC S Rの取組み等を紹介し、企業の環境対策を支援することで、地球温暖化問題への対応や循環型社会づくりに貢献する。
事業対象	環境ビジネス関連企業・大学・研究機関、環境ビジネスの多様なソリューションに関心がある企業・市民等

## No34

事業名	A T C 輸入住宅促進センター事業
所管所属	経済戦略局（立地推進部国際担当）
決算金額	169,862,286 円
事業目的	「A T C 輸入住宅促進センター」の運営を通じ、今後の成長が期待される「環境配慮型住宅・環境配慮型住宅設備機器等の分野」の企業等に対し、関連製品・技術の展示場所やビジネス情報を提供することで、同分野の産業育成・振興を図る。また、こういった住宅産業における環境への配慮を促進し環境問題への対応や住宅建設に関する資源の有効活用に貢献する。
事業対象	住宅関連中小企業（海外住宅輸入販売業、国内住宅販売・建築・住宅設備業、建築デザイン業、マンションオーナー等不動産賃貸業他） 市民（地主）

## No35

事業名	大阪デザイン振興プラザ事業
所管所属	経済戦略局（立地推進部事業創出担当）
決算金額	205,314,243 円
事業目的	創業間もないデザイナーへのインキュベーション及びギャラリー等でのデザインの情報発信等を行う「大阪デザイン振興プラザ」を運営し、新たな商品・サービスを生み出すデザイナー・クリエイター人材の育成と企業のデザイン活用促進による競争力強化を図り、大阪の産業を活性化させる。
事業対象	デザイナー及びデザイン関連団体等

## No36

事業名	クルーズ客船の誘致・受入業務
所管所属	港湾局（計画整備部振興担当）
決算金額	9,226,579 円
事業目的	客船の大阪港寄港推進。それによる大阪市のにぎわいと経済効果。
事業対象	客船社（プリンセスクルーズ社、R C I、M S C、コスタクルーズ等） 客船ツアーを扱う日本の総代理店等（カーニバル・ジャパン等）

No37

事業名	港まつり（大阪湾クルーズ）
所管所属	港湾局（計画整備部振興担当）
決算金額	1,801,203円
事業目的	内航フェリーの活性化と利用促進
事業対象	大阪湾クルーズ参加者

No38

事業名	天保山ハーバービレッジ関連施設
所管所属	港湾局（総務部監理調整担当）
決算金額	－円（貸付事業のため）
事業目的	「大阪都市魅力創造戦略（素案）」に基づき、築港・ベイエリア地区において、クルーズ客船の母港化とインナーハーバーの再生強化を図る。
事業対象	天保山ハーバービレッジ関連施設について一体貸付を実施。

No39

事業名	築港地区活性化事業施設（大阪文化館・天保山）
所管所属	港湾局（営業推進室開発調整担当）
決算金額	－円（貸付事業のため）
事業目的	築港地区の地域活性化
事業対象	大阪文化館・天保山（旧サントリーミュージアム〔天保山〕）の貸付を実施している。

No40

事業名	築港地区活性化事業施設（築港赤レンガ倉庫）
所管所属	港湾局（営業推進室開発調整担当）
決算金額	－円（貸付事業のため）
事業目的	築港地区の地域活性化
事業対象	築港赤レンガ倉庫の貸付を実施している。

No41

事業名	御堂筋の活性化（道路空間の再編）
所管所属	建設局（総務部企画課）
決算金額	35,339,000 円
事業目的	府市統合本部でとりまとめられた「グランドデザイン・大阪」等をふまえつつ、短期的取組みとして側道を利活用した「御堂筋の歩行者空間化」に向けて、平成 25 年度に実施した社会実験の結果をふまえて空間再編案を作成するとともに、本格整備に向けて市民や関係機関等との合意形成に取り組む。
事業対象	検討対象：御堂筋（淀屋橋交差点～難波西口交差点：約 3 k m）

No42

事業名	幹線・電線共同溝整備
所管所属	建設局（道路部道路課）
決算金額	902,015,740 円
事業目的	ライフラインである公益施設を道路の地下にまとめて収容する構造物を築造し、都市防災機能の向上とともに、道路の保全や安全で快適な通行空間の確保を図る、なお、幹線共同溝では電話・電気・ガス・上下水道等を、電線共同溝では電気・通信等の電線類を収容する。
事業対象	電線共同溝整備 3 路線 幹線共同溝整備 1 路線

No43

事業名	水辺の魅力向上
所管所属	建設局（下水道河川部河川課）
決算金額	2,452,000 円
事業目的	（本町橋エリア） 本エリアは、大阪のビジネス街の中心に位置するとともに、会議展示場及び宿泊施設に隣接しており、集客ポテンシャルが高い。現在、下水道工事が行われているが、地域の団体（東横堀川水辺再生協議会）が主体となり、水辺の集客拠点化に向けて、仮設の公共船着場（水都大阪 2009 に下水道の仮設栈橋に設置）を利用したイベント等を開催している。また、本エリアに船着場を整備し、船が行きかう拠点とする「本町橋 B A S E」構想を、舟運事業者とともに策定公表している。

	平成 29 年度に下水道工事による護岸、公演の復旧が予定されていることから、復旧に併せて、賑わい施設の建設及び管理運営を行う民間事業者を呼び込み、集客拠点化を図る計画である。その上で、シンボルイヤーである平成 27 年度には、水辺の利活用を一定図れるよう、本町橋付近の護岸等の一部が復旧される予定である。本事業は、シンボルイヤー平成 27 年に向けて、下水道工事と連携し、船着場を整備（1 期整備）することで、舟運の活性化を図るとともに、今後の集客拠点化に向けた民間投資環境整備を行うものである。
事業対象	船着場 1 期整備

No44

事業名	舟運活性化促進と情報発信事業
所管所属	建設局（下水道河川部河川課）
決算金額	190,000 円
事業目的	地域と連携した水都大阪ならではの川を意識したまちづくりを市域全域へ拡大を目指す観点から、水の都大阪の魅力を情報発信するため、河川の P R パンフレットの配布等の取組みを実施する。
事業対象	河川 P R パンフレット印刷

以 上